

製品名: クローディン 6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08912**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	26kDa

抗原情報

遺伝子名	CLDN6
別名	CLDN6; Claudin-6; Skullin
遺伝子 ID	9074.0
SwissProt ID	P56747
免疫原	抗血清はヒト CLDN6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

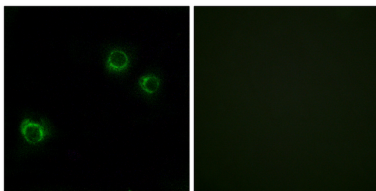
タイトジャンクションは、上皮細胞シートまたは内皮細胞シートにおける細胞間接着の一形態であり、細胞の周囲に連続的なシールを形成し、溶質や水が細胞間空間を自由に通過するのを防ぐ物理的な障壁として機能します。これらのタイトジャンクションは、外

側を向いた細胞質リーフレットに連続したネットワーク鎖の集合体で構成され、内側を向いた細胞質外リーフレットには相補的な溝があります。この遺伝子は、クローディングファミリーに属するタイトジャンクション鎖の構成要素をコードしています。このタンパク質は膜貫通タンパク質であり、C型肝炎ウイルスの侵入補因子の一つです。遺伝子のメチル化は食道腫瘍形成に関与している可能性があります。この遺伝子は、16番染色体上の別のファミリーメンバー CLDN9 に隣接しています。[RefSeq 提供、2010年8月]、機能：細胞間空間のタイトジャンクション特異的な閉塞に主要な役割を果たします。、類似性：クローディングファミリーに属します。、サブユニット：TJP1/ZO-1、TJP2/ZO-2、およびTJP3/ZO-3と直接相互作用します。、

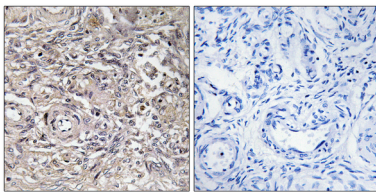
研究分野

細胞接着分子 (CAM)、タイトジャンクション、白血球の内皮透過移動、

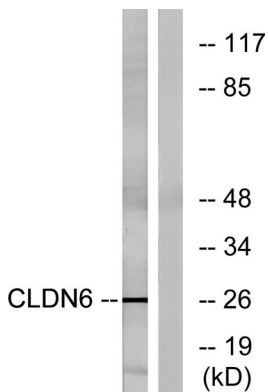
画像データ



CLDN6抗体を用いたHUVEC細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



CLDN6抗体を用いたパラフィン包埋ヒト卵巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CLDN6抗体を用いたJurkat細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



Claudin-6ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

